

令和4年度 運営方針

社会福祉法人会津療育会

令和4年度も、コロナ禍における施設運営を余儀なくされると考えております。本年2月に新型コロナウイルスの3回目のワクチン接種が入所者及び職員に対して行われたところですが、未だに終息の兆しが見通せず、安心感を得るまでには至っていないところでもあります。

昨年度は、新型コロナウイルスの感染症拡大防止のため、アガッセの入所者、通所生活介護等の利用者の方々は、日常生活、社会生活に大きな制限を受け、外出の自粛、面会の制限、行事の規模縮小など、満足度を高める日常生活が十分に送れなかったところであり、ご家族の皆様にも、ご心配をおかけしたところです。地域の方々をはじめとしたボランティアの皆様のご活動が、ほとんどと言っていいほど制限せざるを得なかったのは、感染防止対策の一環で致し方ないとはいえ、誠に残念でありました。

令和4年度は、引き続き、新型コロナウイルス感染症対策が大きなウエイトを占めると思われま。策定した新型コロナウイルス感染症発生時におけるBCPをすべての職員が理解し、評価することで、施設内での感染を最小限に食い止め、必要な施設運営、介護の継続が求められています。また、併せて自然災害発生時におけるBCPについても評価し災害対策を進めるとともに、虐待防止、ハラスメントに対しても研修等を行っていかねばなりません。

このような状況を踏まえ、以下のとおり、会津療育会施設運営の基本理念を念頭に、より良いサービスの提供や地域と共に生きる施設づくりに努めるものであります。

- 1 法人組織の安定した運営と地域貢献事業の推進については、定款及び社会福祉法に基づいた理事会及び評議員会の運営に努めます。また、新型コロナウイルス感染症対策に万全を期すとともに、地域と連携した自然災害対策や地域貢献事業が推進できるように努めます。そのためにも、職員が安心して働き続けられる労働環境の整備を図って参ります。
- 2 コロナ禍における在宅支援サービスの在り方について共通理解を深め、通所生活介護の質の向上を目指し、利用者や家族の方々が利用しやすい事業となるよう努めます。
また、短期入所については、新型コロナウイルス感染症の蔓延状況に大きな影響を受けるところですが、入所者の感染防止を念頭に置きながらも、極力短期入所利用者のニーズに応えられるようにします。
更に、特定相談支援事業所との連携を強化し、コロナ禍においても障がいのある方々それぞれのニーズにあった適切な障がい福祉サービスが提供できるようにして

参ります。

- 3 施設入所者の生活圏の拡大と生活の質の向上については、コロナ禍において、少しでも入所者一人ひとりが安全・安心して生活できるような支援に努め、入所者の方々の希望に沿った日中活動を心がけ、個別のニーズに対応できるようにしていきます。また、食生活の充実に配慮するとともに、入所者の方々が健康で生活できるように医療機関との更なる連携に努めます。